

ジャカランダフェスティバル開催！

本学は、更なる地域密着型の大学を目指し、特別イベント「市民感謝デー ジャカランダフェスティバル」を平成26年7月6日(日)に開催致しました。本学の「ジャカランダ」は、日本最北限といわれており、今年の開花は例年より2週間程早く、フェスティバル当日まで花がもつが懸念がありましたが、少量の花は散らずに例年より美しいフェルメールブルーの花弁を魅せてくれました。フェスティバル当日は、穏やかな晴天に恵まれ入場時間を待たずに多くの方々にお越し頂きました。学内にはジャズのBGMが流れ、揃いのフェルメールブルーのポロシャツを着た、32名のスタッフが来場者を笑顔でお迎えし、「来場者に喜んで頂く」ことで心ひとつに団結する光景に感動を覚えました。

今回は、オリジナルで創りだした「フェルメールブルーのカクテル(ノンアルコール)」数量限定でしたが来場者に振る舞いました。グラスの底に溜まる真青

なブルーに炭酸泡と水が混ざる涼感溢れるカクテルは大好評でした。その他、無料歯科相談には、43名の方々が相談にみえました。またKDC(株)からは、「歯磨剤」「ミネラルウォーター」を先着順でお配り頂き、田中歯科器械店様からは、特賞の電動歯ブラシをはじめ、約400品にのぼる歯科グッズのくじ引きを開催頂き、行列は途切れることなく“来場者に喜んで頂く”ことを実践できました。田中歯科器械店様のご厚意には、この場をお借りして心より御礼申し上げます。

さて、今回のWメインの1つである、俳優風間杜夫様による独演会は、「俳優である風間様が落語を行う？」と大きな話題となり、事前の問合せはこの高座に集中致しました。当日、風間様は高座の前に本学人体標本資料館をご見学され、大変感動されておりました。この際「落語を是非拝聴したい」と希望されておりました横地千仞名誉教授ともご対談

されました。これは、今回の風間様の落語のまくらにおいて「野晒し」に触れます。昨年横地名誉教授が描いた絵画の画題が「野晒し」で、風間様の高座にも登場致しました。この絵画「野晒し」は、資料館に飾りますので是非ご覧になって下さい。高座の舞台である大講堂800席がほぼ埋まる大盛況で、期待の大きさを感じました。司会はKDC(株)荒川秀樹専務による進行で高座は幕を開け、蒲田行進曲の出陣に乗り風間様が高座に登壇すると、場内は熱狂に包まれました。事前のシナリオなど無く、その場の雰囲気・来場者を観て即興で話を決めるという事でした。会場は直に風間ワールドに染まり、大変な盛り上がりを見せました。落語終了後、本学鹿島勇理事長と荒川秀樹専務とのミニ対談を行って頂きました。「今回の主旨」「落語を志した理由」等、非常に興味深いお話を伺い、プライベートな部分にも踏みこみ、風間様の新しい魅力を感じとる事が出来ました。また、対談終了時には、資料館と横地名誉教授の話



に触れ、最前列でご覧になられていた横地名誉教授にむけて、客席より大きな拍手が沸き起こりました。もう1つのメインである、太田剣カルテット feat グレース・マーヤ様による、特設野外ステージのコンサートを矢継ぎ早に開催致しました。本部棟裏広場の特設ステージ前には「ジャズを楽しみにしていた！」という多くの方が最前列に陣取り、メンバーが登場すると大きな拍手が沸き起こりました。ジャズも落語と同じく、その場の雰囲気や曲目を決めるそうです。唯一、こちらのリクエストに応えてくれた、サマータイムは「素晴らしい」の一言でした。今回のイベントを通して、1つの目標に向かい教職員が一致団結して“最高のおもてなし”を遂行することができました。

なお、フェスティバルには延べ1,300名の方にご来場頂き、法人主催のイベントとしては、過去最大の動員数となりました。また、当イベントは大盛況を博しましたので、次年度も開催する予定です。ジャカランダフェスティバル実行委員の方、無料歯科相談をお手伝い頂いた教職員・学生の方、心より御礼申し上げます。(実行委員長 勝野賢一)



平成25年度決算について

平成25年度は、歯学部の実習棟・教室棟建築に伴って購入した備品の減価償却が、平成24年度に終了したことによる負担軽減が要因となりました。また、閉科となった短期大

学部文系学科の図書除却を平成24年度に計上したことや、数年来の経費削減努力が功を奏し、大幅な支出削減を達成する結果となりました。

このように、いくつかの好条件が重なり、平成25年度の学校法人経営判断指標である教育研究キャッシュフロー（大学として体を成すための必要最低条件である経営判断指標）、帰属収支差額（大学としての永続性を担保する経営判断指標）ともに8億円近い黒字を獲得することができました。中でも、帰属収支差額は一時的な資産売却差額を除いても約5億円の黒字となりました。このように財政は、新執行部に移行した平成22年度以来、段階的に順調な改善を

続けています。したがって、日本私立学校振興・共済事業団が定める「定量的な経営判断指標」に基づく本学の経営状態は、平成24年度に引き続き正常状態とされるAランクに格付けされることとなります。さらに、平成22年度から着手した改革以来、病院の建て替えや機器備品等の買い替えのための資金も、目標の約50%近くにまで回復することができました。そこで、平成29年4月のフルオープンを目指して新病院建て替え構想が具体的に動き出しました。

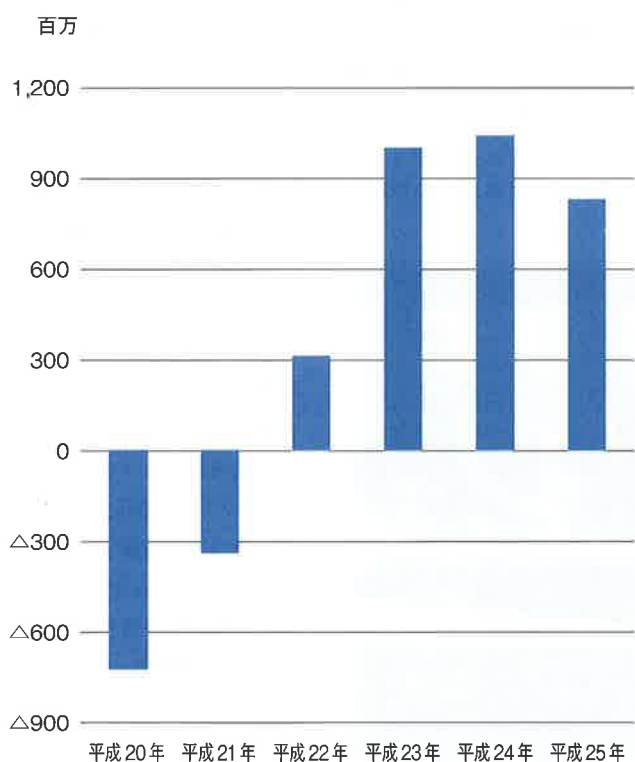
また、昨年の11月、本学を対象に文部科学省の学校法人運営実施調査が行われました。総評では、経営努力に基づく驚異的な財政回復と現在進めている

教育改革を高く評価していただきました。そして、年度末に経営指導のフォローアップ期間が終了し、次年度より経営改善計画書の提出は不必要である旨の報告を受けました。

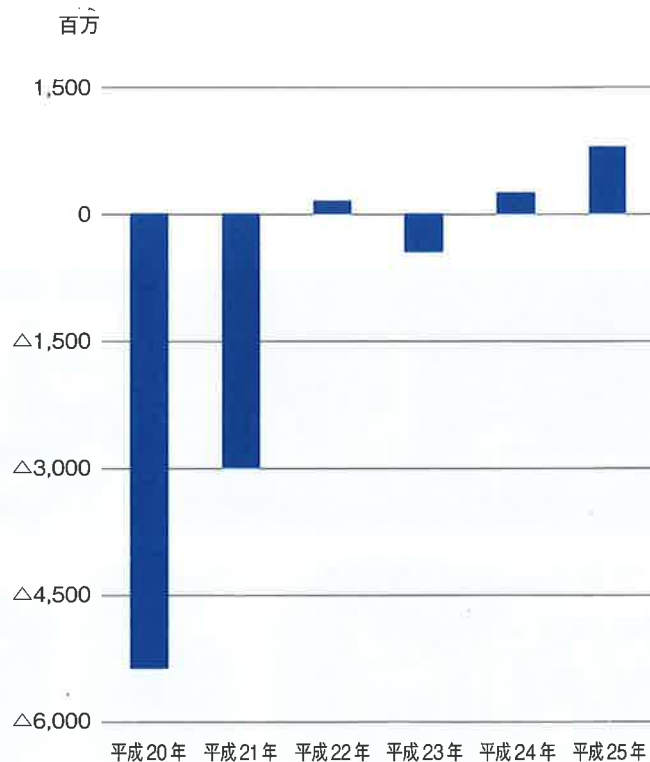
平成22年度の「改革元年」から始まった大学再生は、平成23年度「再生から創造」、平成24年度「創造的進化」、平成25年度「共創元年」を経て、今回のフォローアップ終了の瞬間をもって一応の区切りをつけたこととなります。復旧と復興を同時に行ってきた4年間に渡る大学再建に、ご理解とご協力を賜りました教職員の皆様方に対し改めまして衷心より御礼申し上げます。

(理事長 鹿島勇)

教育・研究キャッシュフロー(大学として体を成すための必要最低条件)



帰属収支差額(大学としての永続性を担保する経営判断指標)



平成25年度決算について

平成25年度決算は、平成26年5月20日に監事の監査報告を受けて、平成26年5月28日に理事会で議決され同日開催の評議員会で報告されました。

学生生徒等納付金が減収となるなか、附属病院、横浜クリニックの医療収入の大幅な増収や、円安による資産運用収入等により、昨年度に引き続き、帰属収支差額の黒字化を達成しました。

また、教育研究活動によるキャッシュフローは平成22年度

より4期連続で黒字を計上しており、本法人の経営状態は、日本私立大学振興・共済事業団が定める「定量的な経営判断指標」に基づく経営状態において、正常な状態とされるAランクに格付けされます。

なお、神奈川歯科大学及び神奈川歯科大学短期大学部のホームページにも事業報告や詳細な財務報告を公開しておりますので、ご覧下さい。

1. 消費収支計算書 25年4月1日から26年3月31日まで (単位 円)

消費収入の部			
科 目	予 算	決 算	差 異
学生生徒等納付金	3,685,150,000	3,677,229,500	7,920,500
手数料	36,790,000	34,376,700	2,413,300
寄付金	33,280,000	42,919,474	▲ 9,639,474
補助金	506,480,000	502,161,828	4,318,172
国庫補助金	506,180,000	501,878,332	4,301,668
地方公共団体補助金	300,000	283,496	16,504
資産運用収入	60,620,000	74,663,783	▲ 14,043,783
資産売却差額	293,040,000	293,040,000	0
事業収入	2,256,270,000	2,422,255,031	▲ 165,985,031
雑収入	398,570,000	411,335,762	▲ 12,765,762
帰属収入合計	7,270,200,000	7,457,982,078	▲ 187,782,078
消費収入の部合計	7,270,200,000	7,457,982,078	▲ 187,782,078

消費支出の部			
科 目	予 算	決 算	差 異
人件費	3,888,580,000	3,868,275,664	20,304,336
教育研究経費	2,035,710,947	1,940,617,570	95,093,377
管理経費	885,779,476	828,931,469	56,848,007
資産処分差額	10,730,000	11,713,997	▲ 983,997
徴収不能引当金繰入額	5,000,000	207,356	4,792,644
〔予備費〕	[115,530,423]		
	34,469,577		34,469,577
消費支出の部合計	6,860,270,000	6,649,746,056	210,523,944
当年度消費収入超過額	409,930,000	808,236,022	
前年度繰越消費支出超過額	8,498,960,000	8,498,963,414	
基本金取崩額	1,456,340,000	1,280,481,799	
翌年度繰越消費支出超過額	6,632,690,000	6,410,245,593	

2. 資金収支計算書 25年4月1日から26年3月31日まで (単位 円)

収入の部			
科 目	予 算	決 算	差 異
学生生徒等納付金収入	3,685,150,000	3,677,229,500	7,920,500
手数料収入	36,790,000	34,376,700	2,413,300
寄付金収入	26,200,000	25,905,072	294,928
補助金収入	506,480,000	502,161,828	4,318,172
国庫補助金収入	506,180,000	501,878,332	4,301,668
地方公共団体補助金収入	300,000	283,496	16,504
資産運用収入	60,620,000	74,663,783	▲ 14,043,783
資産売却収入	293,040,000	293,040,000	0
事業収入	2,256,270,000	2,422,255,031	▲ 165,985,031
雑収入	398,570,000	403,281,548	▲ 4,711,548
前受金収入	468,920,000	489,967,500	▲ 21,047,500
その他の収入	1,720,810,000	1,756,936,574	▲ 36,126,574
資金収入調整勘定	▲ 1,033,330,000	▲ 1,144,729,490	111,399,490
前年度繰越支払資金	3,900,470,000	3,900,465,148	
収入の部合計	12,319,990,000	12,435,553,194	▲ 115,563,194
支出の部			
科 目	予 算	決 算	差 異
人件費支出	3,917,320,000	3,909,223,161	8,096,839
教育研究経費支出	1,479,390,947	1,395,168,699	84,222,248
管理経費支出	783,709,476	724,896,400	58,813,076
施設関係支出	30,157,390	30,157,390	0
設備関係支出	115,873,300	171,404,514	▲ 55,531,214
資産運用支出	0	9,067,496	▲ 9,067,496
その他の支出	1,713,250,000	1,639,083,683	74,166,317
〔予備費〕	[158,461,113]		
	▲ 8,461,113		▲ 8,461,113
資金支出調整勘定	▲ 320,500,000	▲ 364,750,264	44,250,264
次年度繰越支払資金	4,609,250,000	4,921,302,115	▲ 312,052,115
支出の部合計	12,319,990,000	12,435,553,194	▲ 115,563,194

3. 貸借対照表 26年3月31日 (単位 円)

資産の部			
科 目	本年度末	前年度末	増減
固定資産	22,960,345,702	23,442,065,814	▲ 481,720,112
有形固定資産	16,008,869,722	16,460,449,833	▲ 451,580,111
その他の固定資産	6,951,475,980	6,981,615,981	▲ 30,140,001
流動資産	5,727,792,281	4,631,784,745	1,096,007,536
資産の部合計	28,688,137,983	28,073,850,559	614,287,424
負債の部			
科 目	本年度末	前年度末	増減
固定負債	2,278,904,792	2,319,852,289	▲ 40,947,497
流動負債	928,943,710	1,081,944,811	▲ 153,001,101
負債の部合計	3,207,848,502	3,401,797,100	▲ 193,948,598
資本金の部			
科 目	本年度末	前年度末	増減
第1号基本金	31,140,535,074	32,421,016,873	▲ 1,280,481,799
第2号基本金	0	0	0
第3号基本金	86,000,000	86,000,000	0
第4号基本金	664,000,000	664,000,000	0
基本金の部合計	31,890,535,074	33,171,016,873	▲ 1,280,481,799
消費収支差額の部			
科 目	本年度末	前年度末	増減
翌年度繰越消費支出超過額	6,410,245,593	8,498,963,414	▲ 2,088,717,821
消費収支差額の部合計	▲ 6,410,245,593	▲ 8,498,963,414	2,088,717,821
負債の部、基本金の部及び消費収支差額の部合計			
科 目	本年度末	前年度末	増減
	28,688,137,983	28,073,850,559	614,287,424

教育システムの現状及び学修管理システム(KDU-LMS)の紹介

はじめに

神奈川県立歯科大学歯学部では平成

25年度に教育システムの改革を行い、1年が経過致しました。

新しい教育システム

5学期制は学修する科目(モジュール)を絞って確実に修得していき、到達目標を細かくして授業に遅れる学生に対しても早めにフォローしています。現3~5年

生は、初めての制度で学修したにも関わらず、モジュール評価は各学年GP=2.0以上になり、平成24年度よりGPが上昇しています。これは、欠席者に対する補完授業、未修得者に対する早期の追

新しい教育システムでは、教育の質的保証をより充実するために、5学期制(ステージ)、体系化されたプログラム、クリッカーを使用した出欠席の導入、モジュール評価の可視化、能動的

授業や双方向の授業展開、e-ラーニングの導入を行いました。平成26年の2年目を迎え、現在Stage IIが終了する時期に成りました。そこで、現在の教育システムの現状をご紹介します。

アクティブ・ラーニング

授業の形態も従来の講義・実習だけでなく、能動的学習(アクティブ・ラーニング)が増え、クリッカーを使用した双方向の授業も増えてきました。平成26年度は、各モジュールで積極的に取り入れています。能動的学

修を進めるために環境整備も積極的にを行い、平成25年度の文部科学省「私立大学等改革総合支援事業」の補助金を受け、1号館(旧実習棟)2Fに多目的実習室(アクティブ・ラーニング・ラボ:写真1)や4号館地下にラーニング広場(写真2)を設置し、

この施設を利用した演習、PBL、グループ学修が増えました。学生主体の能動的学修を支援するために、自習室やラー

ニング広場は夜10時まで開放されています。



写真1



写真2

e-ラーニング

能動的学修の支援にe-ラーニングがあります。これは、授業が録画されていて、欠席等に

より受講出来なかった授業を後から視聴して学修ができます。また、希望すれば誰でも録画授業を視聴して、復習や不得意

科目のフォローが可能です。当初は、視聴する学生の数も少なかったのですが、昨年秋以降、月50人以上の学生が視聴して

います。今後e-ラーニングは、より充実をはかり、何時でも視聴できる環境作りを行っていきたいと思います。

成績評価

成績評価のGPA(グレード・ポイント・アベレージ)制度は、学生の自主性を促すことを意識して導入しています。履修時間

が多く重要度の高いモジュールほど点数比率が高くなるので、学生がモジュールごとの単位をより意識することになっています。平成25年度を通して、学

生・教員も各ステージ評価時にGPA値を見ながら、評価を把握し学修や教育指導に利用しています。このGPA、出欠席状態や生活習慣等を記録した「学生カ

ルテ」を作り、弱点や学修方法の問題点などを早期に見つけ出して指導に役立てていきたいと考えています。

神奈川県立歯科大学学修管理システム(KDU-LMS)

平成26年度から神奈川県立歯科大学学修管理システム(KDU-LMS)の一部を運用し始めました。このシステムは学生に、種々の情報発信と学修支援を目的に導入されました。現在、学生ポータルサイトと連動して、学生ポータルサイト上で、各学生の「出欠席」、「事前学修」を提供しています。

出欠席情報は、授業ごとに確認ができ、欠席届の提出、補完授業の終了の有無、欠席減点の回復などを確認できるようになっています。これを利用して、学生は欠席した場合に再確認し、

補完授業を受け、e-ラーニングなどで自学自修に活用してもらうことを期待しています。

能動的学修支援としては、「事前学修」を学生ポータルサイトの「シラバス」で確認することもできますが、このサイトを利用することで授業ごとに、使用教室、ユニット、授業目標、キーワード、事前学修範囲が閲覧でき、さらに事前学修ファイルが添付されています。この添付ファイルは、その授業の担当教員が事前に具体的な学修項目や授業資料を添付してあり、学生はスマートフォンや携帯電話、コンピュータでダウンロードして、自学自修ができます。

このシステムには、「事前学修で判らないところ」や授業終了後に「授業で判らなかったところ」を記入し、直接教員に質問し理解度を確認して登録することができます。登録をしてもらうと、事前学修や講義後の判らないところは、直接教員から各学生に回答が配信されるようになっていきます。各学生に対して、授業中になかなか聞けない質問などを的確にアドバイスなどができると考えています。保護者の方々は、学生ポータルサイトの学生IDとパスワードがあれば、学生同様に自宅のコンピュータやスマートフォンで閲覧が可能です。

KDU-LMSは歯学教育の授業のあり方を教育パラダイムから学修パラダイムへと移行するのに不可欠な情報通信技術(ICT)だと考え、より多くの情報を学生・保護者の方々に公開することが可能になります。

最後に

今後の展開としては、ステージごとの成績開示(GP・GPA)、学生によるアンケート調査、面談の予約など、学生ポータルサイトと連携しながら、学生が教育課程を進みながら、自分の成長を確認できる内容を多く計画していきたいと考えております。

(総合教育部教授 湯山徳行)

全学総合防災訓練

平成26年6月13日(金)に平成26年度第1回神奈川歯科大学全学総合防災訓練が実施されました。本年度からは、防災管理規定が施行され防災体制が強化されました。特に、規程に基づき全学の防災計画や防災施策を決定する学長を委員長とし、各部署局長をメンバーとした防災対策協議会と、事務局長を委員長とする実行組織である防災対策実行委員会が設立されました。

今回の防災訓練は、「全館放送による指揮系統の確立」を目指すことを目的として企画され

ました。また、三浦半島に震度7の直下型地震が起こり、学内に火災や負傷者が多数発生するという想定で実行され、全教職員の参加のもとに真剣な訓練が展開されました。

これまで本学には、全館放送が設置されていなかったことから非常放送を用いた初の訓練であり、今後制度向上に重点をおいて行う予



定です。今回から歯学部では学生防災委員を任命し、安否を前回より早く確認ができ効果的な活動ができました。また、訓練に臨場感が必要なことから、負傷者の救出活動や、横須賀消防署の協力によりはしご車による救出訓練も行われました。はしご車での救出役には、本年度よ

り防災関係を担当する中村一義特別顧問にお願いしました。その他、水消火訓練、煙ハウス体験も行われました。最後に横須賀中央消防署副所長渡辺宏様から講評をいただき、継続的な訓練の必要性が説明されました。さらに榎木恵一副学長から講評を行い終了しました。

神奈川歯科大学第45回諸霊供養の会

第45回諸霊供養の会を平成26年4月12日(土)本学大講堂にて執り行いました。本年度も、ご献体頂きました方々と共に、本学死因調査事務所及び死因究明事務所にて法医解剖・検案をさせて頂きました方々の御霊に対し、合同解剖慰霊祭として執り行わせて頂きました。当日は穏やかな気候に恵まれ、平田幸夫学長、峯村明彦法人事務局長、井野智横浜クリニック院長の3名の理事と、ご来賓として沼田芳明横須賀市副市長、亀井貴嗣県議会議員をはじめ、会員様、ご遺族様、関係機関、教職員、歯学部3年生・6年生、短

期学部看護学科及び歯科衛生学科学学生代表ら総勢650名の方々にご参列賜りました。榎木恵一副学長による司会進行で、式典は厳かに始まりました。峯村法人事務局長の開会のことばに続き、井野横浜クリニック院長より、平成25年度にご成願されました44名の方のご芳名拝読をさせて頂きました。その方々を加えた献体者ご芳名帳が、松尾雅斗准教授により祭壇中央に奉納されました。その後、法医解剖・検案をさせて頂きました150名の方々のご芳名帳を津田征郎客員教授と長谷川巖特任教授により奉納致しました。平

田学長からご献体成願者1893柱の御霊と法医解剖1070柱の御霊に対する慰霊の言葉に続き、歯学部3年生代表今野智徳さんと中村理穂さんをご献体いただいた方々と、ご理解いただきましたご遺族様に対する深い感謝の気持ちで込められた弔辞を読み上げました。会場には、ボーカリスト華麗のお2人と川崎龍様による生演奏が穏やかに奏でられ、参列者全員がそれぞれ一もとのカーネーションを手に、献体成願者並びに法医解剖諸霊位のご冥福を祈っ

て礼拝いたしました。華麗様と川崎龍様には、献花が終了したのち、諸霊位の安息を願い、心を込めた透明感ある美しいコーラス2曲をご披露賜りました。涙が溢れてくるとも感動的な瞬間でした。その後、松尾准教授よりご参列者様への挨拶を頂き、峯村法人事務局長の閉会のことばをもって、式典は無事終了いたしました。



平成26年度 弓削朝子研究奨励賞 受賞者、室町幸一郎先生に決定

本年4月、弓削朝子研究奨励賞の募集(第10回目)を行いました結果、12名の応募がありました。神奈川歯科大学弓削朝子研究助成委員会、教授会の議を経て、受賞者が決定いたしました。【平成26年度弓削朝子研究奨励

賞受賞者】
歯髄生物学講座
室町幸一郎 助教
研究課題「CCN family タンパク質が修復象牙質形成時の歯髄幹細胞に及ぼす役割の解明」/
研究奨励金 30万円

本学の学術研究のために多大なるご寄附を賜り、故弓削朝子先生並びにご親族の皆様にご心より感謝申し上げます。

※弓削朝子研究奨励賞：神奈川歯科大学名誉教授 故弓削朝子先生からの寄附基金によって運用

されている学内研究者を対象とした研究奨励のために支給される補助金です。



二瓶智太郎准教授 日本歯科理工学会学術賞受賞

平成26年4月12日、13日に開催されました第63回日本歯科理工学会学術講演会において、大学院歯学研究科クリニカル・バイオマテリアル講座の二瓶智太郎准教授が学術賞を授与されました。この学術賞は、歯科理工学術分野において顕著な功績を挙げ、若手研究者の育成にも大きな貢献をしたことが認められた研究者に授与されま

す。二瓶准教授は「歯と歯科材料の表面改質」について研究を続けてきており、以前所属していた保存修復学分野より准教授そして大学院指導教員として、大学院生をはじめ医員など若手の先生方の研究と臨床教育にも力を入れてきました。本学において地道に研究を進めてきた研究者に授与されたことは喜ばしいことです。二瓶准教授は大学

の将来そして歯科界を見据えて「新たな発想の臨床系歯科理工学の研究室」が必要と考え、附属病院では「先端材料診療科」を開設し（特殊診療科総科長）、本年度より講座名も歯科理工学講座から「クリニカル・バイオマテリアル講座」に改名しました。歯科治療はほぼ9割以上が材料を使用する医療で、今後臨床と基礎のデータの収集と分析により、臨床に必要な新たな歯科生

体材料と機器の開発に繋がる研究室と診療科の構築を目指すとのことです。今後の二瓶准教授をはじめクリニカル・バイオマテリアル講座に注目、そして一層の活躍を期待したいと思います。



二瓶准教授(中央)とクリニカル・バイオマテリアル講座医局員

神奈川県危険物安全協会連合会会長賞受賞

平成26年6月26日(木)、本法人が優良危険物事業所として平成26年度神奈川県危険物安全協会連合会会長賞を受賞しました。この賞は、多年にわたり危険物の安全管理と防災思想の普及に尽力した事業所等に贈られています。



同済大学姉妹校締結

平成26年6月13日(金)本学と同済大学第十医院(上海)との間で、学術交流の協定を締結しました。姉妹校締結式は同済大学において行われ、本学から平田幸夫学長、佐藤貞雄名誉教授が出席しました。今後は、両校の教員・学生間の人材育成およ

び学術教育・研究についての交流を行っていくこととなります。



横浜クリニック ニュース

神奈川歯科大学附属横浜クリニック眼科が、NHK総合「ためしてガッテン」に取材協力しました。

番組タイトル:「ヤバイ!目の疲れ頭痛 まとめて劇的改善DX」

放送日時:2014年6月4日(水) 20:00~20:43 NHK総合

当クリニック眼科の原医師(特任教授)は、神経眼科分野を得意としています。今回の番組タイトル「目の疲れ頭痛」と神経眼科における眼球運動は、原医師の得意の分野です。横浜クリニック眼科の診察室と検査室において、取材と検査協力が行われました。原医師は、NHKスタジオでの実験、MRI

撮影に立ち会い、症状の説明を行いました。君島視能訓練士は、NHKスタジオでの実験前後に視機能検査(視力や斜視検査など)を行い、当院眼科で眼鏡処方の手順などの検査の取材、撮影協力を行いました。放送内容は、ひどい疲れ目や頭痛の正体

が隠れ斜視であった、というものでした。ひどい疲れ目で悩む方に集まっていただき、目を使う実験を行い、脳が疲れると斜視が出てくることを説明しました。こういった方の治療は、手術や眼鏡処方とな

り、斜視専門の眼科医の診察が必要となります。



神奈川歯科大学附属横浜研修センター 高度先進口腔医学講座大学院_オープンセミナー

日程	時間	講師	タイトル
2014年8月28日(木)	18:00~	児玉利朗	歯周病における咬合性外傷の考え方
2014年9月11日(木)	18:00~	槻木恵一	食事要因による唾液IgAの増加とそのメカニズム
2014年10月9日(木)	18:00~	三辺正人	慢性疾患重症化予防に関連した歯周病ケア
2014年10月23日(木)	18:00~	木本茂成	小児期の生活習慣病と食育
2014年11月13日(木)	18:00~	山本龍生	歯の健康と要介護の関連
2014年11月27日(木)	18:00~	鈴木敏行	有床義歯の理想的な設計
2014年12月11日(木)	18:00~	不島健持	歯科臨床における三次元画像工学の応用
2015年1月8日(木)	18:00~	木本克彦	咀嚼運動と脳機能概論
2015年1月29日(木)	18:00~	熊坂純雄	外傷歯について
2015年2月26日(木)	18:00~	田村利之	歯周組織のマネージメント

会場:神奈川歯科大学附属横浜研修センター7階 大会議室/参加費:無料 問合せ:045-313-5047(地域医療連携室 直通)

教学部だより

歯学部

瞳みのる氏 特別講義について

平成26年6月18日(水)、元グループサウンズ『ザ・タイガース』のメンバーとして活躍され、現在でも音楽活動の再開、独自の芸能活動・執筆活動も行って話題となっている瞳みのる氏(平成26年4月1日付本学特任教授就任)が本学6年生135名に対して約70分間の特別講義を行いました。

自身の芸能活動と勉学に励む事への素晴らしさを併せた独自の講義内容に、学生は神妙な面持ちで聞き入っていました。ステージ上でも教室内でも常に全力全開で取り組む姿に、トップミュージシャンとして活躍された方のプロ意識の高さを感じられました。

平成26年度 第1回授業参観・学年別懇談会

平成26年6月12日(木)、神奈川歯科大学にて第1回授業参観・学年別懇談会が開催され、

約150組の保護者の皆様にご出席いただきました。午前には各学年の講義や実習を見学していただき、午後の全体説明会では平田幸夫学長や桜井孝教学部教務担当部長・菅谷彰教学部学生担当部長よりご挨拶・カリキュラムについての説明がありました。その後、学年別懇談会が行われ、各学年主任・担任の紹介、授業や学生のサポート体制について詳しく説明がありました。

アメリカ研修

平成26年2月17日から10日間、歯学部から選ばれた3名がアメリカのミズーリ大学歯学部カンザス校にて研修を行いました。クリニック見学や治療アシスタント、現地学生との交流等、貴重なプログラムを無事終了しました。

参加した5年生高山さんは「多くの見聞を広げることが出来たこの経験を私の今後の人生に大いに役立てたいと思います。今回の経験を通して、今自分が学んでいることの意味や将来について深く考えることができ、とても有意義な時間となりました。」とコメントしていました。

平成25年度「特待生」表彰式

平成26年4月22日(火)、前年度の各学年成績優秀者15名が「特待生」として表彰され、平田

幸夫学長より一人ひとりに賞状が手渡されました。

「特待生」は、年間成績が特に優秀であった者に対し奨学金として次年度の授業料が減免される制度で、学生にとっては勉学の大きな励みとなっています。

【特待生】2年：黄欣如、高碩璟、朴宰賛、3年：金泰潤、齊木林太郎、谷川高、4年：片桐法香、木村裕二郎、本間優太、5年：小瀬貴之、相馬聡宏、武井佑里子、6年：石井滋、組田一恵、杉山聡美



学年別懇談会



特待生表彰式



アメリカ研修



アメリカ研修

短期大学部

平成25年度成績優秀者表彰

平成26年4月28日(月)、前年度の各学科学年成績優秀者4名が表彰されました。

【歯科衛生学科】2年：鈴木聖奈、

3年：兼井由里子

【看護学科】2年：桑原真咲、3年：葉山夢



成績優秀者表彰

平成26年度保護者会総会・懇親会のご報告

平成26年6月4日(水)保護者会総会・懇親会が行われました。開会の辞に始まり会長挨拶・議長選出、議事録署名人選出、役員選出等が行われ新役員21名が承認されました。役員候補者が少なく確保が困難な時期もありましたが、近年様子は変わりました。会長は、長いこと貢献してきた奥野由美子氏に代わり青島久美子氏となりました。副会長坪井美砂子氏、早川加奈子氏が就任しましたのでご報告します。

神奈川歯科大学短期大学部保護者会は保護者と大学間の連絡を密にし、ともに協力して学生の修学が健全かつ効果的に行われるよう支援することを目的としています。近年保護者は、教育現場に関心が高く多忙にもかかわらず毎月定例保護者会役員会には多数出席いただいております。また総会当日には、保護者を対象とする授業解放(教学部主催)が行われ昨年より多い26名の保護者の皆様が出席され、関心の高さがうかがえました。

総会及び懇親会以降の本年度の事業として、年2回の「湘風」

の発行、稲岡祭参加、教職員との懇親会を予定しています。また学生の教育と生活に関する利益を第一に、保護者の皆様の意向を最大限に反映させるべく活動してまいります。ご意見をお待ちしております。

今後も保護者会は大学と保護者の意思疎通の場として、ますます重要な会となります。皆様方のご協力とご理解をよろしくお願いいたします。

教学部だより

オープンキャンパス2014年度日程

歯学部 オープンキャンパス		
日程	体験授業	
2014年 5月25日(日)	こんなことまでわかる唾液検査!	
6月22日(日)	歯科医院を体験しよう!	
7月27日(日)	歯科医院を体験しよう!	
8月10日(日)	精巧な歯科機材を実体験してみよう!	
8月28日(木)	横浜研修センター(横浜クリニック)へ行こう!	
9月28日(日)	歯科医師体験をしてみよう! チャレンジ!! 歯科治療!	
11月8日(土)	稲岡祭 進学相談会 12:00~15:00	
11月16日(日)	入試対策講座	
2015年 3月15日(日)	新3年生対象	

短期大学部 オープンキャンパス			
日程	プラスワン企画	歯科衛生学科 体験授業	看護学科 体験授業
2014年 5月11日(日)	AO入試対策講座	のぞいてみよう! 歯科治療	高齢者体験
6月22日(日)	AO入試対策講座	歯科医院を体験しよう!	こころの健康
7月27日(日)	保護者説明会	歯科医院を体験しよう!	バイタルサインって何?
8月3日(日)	AO入試対策講座	ミラクルフルーツってミラクル!?	妊婦体験からわかること
8月21日(木)		お口のケアとメイク	小児のバイタルサイン測定
9月21日(日)	推薦入試対策講座	「なぜ歯が必要なの?」~歯の役割を考えてみよう~	生活習慣病について
11月8日(土)		稲岡祭 進学相談会 12:00~15:00	稲岡祭 進学相談会 12:00~15:00
11月16日(日)		顔の筋肉を鍛えて、美しくなっちゃいましょう!	注射とは?
2015年 3月22日(日)		歯科衛生士の仕事	看護師の仕事



2015年度入学試験実施一覧

歯学部

歯学部 (募集人員 100名 男女)					
試験区分	試験日	合格発表	試験区分	試験日	合格発表
推薦1期(指定校)	11月2日(日)	11月4日(火)	一般1期	2015年 1月31日(土) 2月1日(日)	2015年 2月3日(火)
推薦1期(公募)					
推薦2期(指定校)	12月14日(日)	12月16日(火)	一般2期	2015年 2月22日(日)	2015年 2月24日(火)
推薦2期(公募)					
卒業生子女1期	11月2日(日)	11月4日(火)	一般3期	2015年 3月8日(日)	2015年 3月10日(火)
卒業生子女2期	2015年 1月31日(土)	2015年 2月3日(火)	センター試験 利用1期	2015年 1月31日(土)	成績開示後に行います。
卒業生子女3期	2015年 2月22日(日)	2015年 2月24日(火)	センター試験 利用2期	2015年 2月22日(日)	2015年 2月24日(火)
帰国子女・外国人留学生 1期~3期	卒業生子女と同じ		試験区分	実施日	内定発表
編入1期	11月2日(日)	11月4日(火)	AO1期	9月7日(日)	9月9日(火)
編入2期	2015年 1月31日(土)	2015年 2月3日(火)	AO2期	11月2日(日)	11月4日(火)
編入3期	2015年 2月22日(日)	2015年 2月24日(火)	AO3期	12月14日(日)	12月16日(火)
編入4期	2015年 3月8日(日)	2015年 3月10日(火)			

短期大学部

歯科衛生学科 (人員 120名 男女)		
試験区分	試験日	合格発表
推薦I期(指定校)	10月26日(日)	10月28日(火)
推薦I期(公募)		
推薦II期(指定校)	11月30日(日)	12月2日(火)
推薦II期(公募)		
一般	2015年 2月1日(日)	2015年 2月3日(火)
特待生推薦	10月26日(日)	10月28日(火)
社会人特別I期	10月26日(日)	10月28日(火)
社会人特別II期	11月30日(日)	12月2日(火)
試験区分	面談日	内定発表
AO1期	8月19日(火)	8月20日(水)
AO2期	9月8日(月)~ 9月26日(金)	9月30日(火) まで
AO3期	11月25日(火) ~12月8日(月)	12月11日(木) まで
AO4期	個別にお知らせいたします。	

看護学科 (人員 80名 男女)		
試験区分	試験日	合格発表
推薦I期(指定校)	10月26日(日)	10月28日(火)
推薦I期(公募)		
推薦II期(指定校)	11月30日(日)	12月2日(火)
推薦II期(公募)		
一般	2015年 2月1日(日)	2015年 2月3日(火)
特待生推薦	10月26日(日)	10月28日(火)
社会人特別I期	10月26日(日)	10月28日(火)
社会人特別II期	11月30日(日)	12月2日(火)
試験区分	面談日	内定発表
AO入試	9月28日(日)	9月30日(火)

※詳細はホームページをご覧ください

URL : <http://www.kdu.ac.jp/>

第50回 稲岡祭 Let it 50周年~ありのままの神歯で~
平成26年 11月8日(土)開催